

# 令和6年度 特例の教育課程の実施状況報告

## 1. 学校・市町村概要

瀬喜田小学校

・教育目標: ・よく考え進んで学ぶ子 ・仲良く思いやりのある子 ・健康でたくましい子

・所在地 ●沖縄県名護市幸喜4-1

・児童数

学年	小学校								中学校					小中計
	1	2	3	4	5	6	特別支援学級	計	7	8	9	特別支援学級	計	
児童生徒	2	6	2	8	12	4	5	39						
学級数	1	0.5	0.5	1	1	1	2	7						

○名護市概要【人口】64,548人【学校数】小学校11校、中学校6校、小中一貫校2校

## 2. 教育課程特例の取り組み・概要

ねらい

- 歌や遊びなどの活動を通して、英語特有の発音やリズムに慣れる。
- 間違いをおそれず、英語発音をまねし、進んで発話する。

## 3. 取組の工夫:教科等の系統性・連続性を踏まえた学習指導【系統図や指導計画の作成・活用】

- ・生活の中で使われている英語に気づき、その音声を日本語と比較して確認したり、関連する語彙を増やしたりした。また、新しい英語の語彙との出会いを、ゲーム的な活動や操作活動、英語の歌などを活用して、反復して練習できるように実施した。
- ・ALTとのコミュニケーションの時間を授業の中で確保し、たっぴり英語の音声に慣れるようにした。また基本的な質疑応答を授業の帯として毎回確認した。(気分、天気、曜日等)
- ・文字に興味を持つ児童も多くいたので、教室内にアルファベット表の掲示やアルファベットの曲等を活用した。

## 4. これまでの成果と課題、今後の取り組み

- ・1年生のスタートは2学期からであったが、どの学年も英語に興味を持ち、また特に低学年の児童には音楽を活用した英語の学習が効果的であった。聞く活動の中でTPRを取り入れ、言語(英語)の知識がなくても、聞くことに集中して反応することができた。
- ・低学年の2年間で、英語の学習に触れていることで、ALTの先生方にも不安や緊張せず、コミュニケーションをとろうとする態度が身についている。また、3年生から始まる外国語活動の学習にスムーズに取り組むことができた。
- ・少人数学級での授業の実施であったので、一人一人がALTと接する時間を多くもてた。また、ALTが他の教科の支援や休み時間に児童と関わってくれたので、学習を意識せず、英語に触れることができた。